学習指導要領		杉並高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちが生きる社会</p> <p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p> <p>現代社会について、倫理、社会、文化、政治、法、経済、国際社会など多様な角度から理解させるとともに、自己とのかかわりに着目して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について考察させる。</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>幸福、正義、公正、公益、真理、活力などの価値について、生命、情報、環境、エネルギー、科学技術などの具体的な事例の考察を通して追究する。その際には具体的な事例は私たちと関係があることと自分が当事者ならどうするかという視点を大切に、自己の意見を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義について、エリクソン、ルソー、レヴィンたちの言説を参照しながら理解する。 ・人間の心理、特に青年期の心理の特徴に注目し、欲求、葛藤、欲求不満、マズローの欲求階層説、マズローの自己実現、アイデンティティ、無意識などについて理解する。そして自らの自己実現について、職業生活を想像しながら考察できる。 ・フロイトの防衛機制について説明できる。 ・世界を理解し共生していく前提として、自らの国の伝統と文化の理解が重要であることを認識する。 ・よりよく生き、よりよい社会を創造するために、古代ギリシャ思想まで遡り、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの言説の特徴を説明できる。 ・世界三大宗教の特徴を理解する。 ・科学の発達と宗教の関わりについて認識する。 ・カントを参照して自由と人格について理解する。 ・個人と社会の関係を考察するためにヘーゲルとカントの思想を参照する。 ・キルケゴール、ニーチェたちの実存主義について理解し、生き方を検討する。 ・レヴィストロースの構造主義を参照し西欧近代思想を相対化する視点に立つ。 ・自己を超えた存在に貢献できる視点に立てるようにガンディとマザーテレサの生き方を理解する。

学習指導要領	杉並高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホッブズ、ロック、ルソーのそれぞれの社会契約説の共通点と特徴を理解する。 ・夜警国家と福祉国家についてその違いを明らかにして説明できる。 ・デモクラシーの語源であるデモスとクラチアについて理解する。 ・民主主義の手段である多数決原理について確認し、少数者の意見にも耳を傾けなければ時に多数者の専制となりファシズムにもつながることを理解する。 ・トクヴィルとミルの資料から、課題を見つける。 ・ロックとモンテスキューの権力分立について理解する。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法の特徴を参考にしながら、天皇の地位と役割について理解する。 ・我が国の安全を考察するために、我が国が関わった過去の戦争の状況について理解する。 ・ポツダム宣言受諾、日米安全保障条約を理解する。 ・日本国憲法で保障されている平等権、自由権、社会権などの基本的人権について、憲法の条文を参照しながら具体的な裁判事例を通して説明できる。 ・衆議院と参議院の特徴の違いと内閣の特徴を理解する。 ・地方自治の本旨と意義について知る。 ・衆議院と参議院の選挙制度の特徴について理解する。 ・政治と世論について考察し、世論の重要性と脆弱性を知る。そして一人ひとりの認識と判断、行動が問われるということを知覚する。 <ul style="list-style-type: none"> ・立憲主義について理解する。 ・法の支配と法治主義の違いを知る。 ・三審制と司法権の独立について理解する。 ・弾劾裁判所と違憲審査権の特徴と意義について事例を通して理解する。 ・裁判員制度の特徴を説明できる。

学習指導要領	杉並高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと経済は密接に関係していることを自覚する。 ・経済の意味と資本主義経済、混合経済、社会主義経済の特徴を理解する。 ・インフレーションとデフレーションについて理解する。 ・市場経済を理解するために需要と供給と価格の関係を理解する。 ・市場の意義と失敗について知る。 ・企業と株式会社の特徴と社会的責任について具体的事例を通して理解する。 ・景気循環の概要について、キチン、ジューラー、コンドチェフを参考にして理解する。 ・金融の意味と金融機関の役割について理解する。 ・市場経済における政府の役割を理解する。 ・税のあり方を考察するために間接税と直接税の概要を知る。 ・国の債務の現状について知る。 ・日本の主な公害の特徴を理解する。 ・消費者問題の具体的事例を通して知り、消費者としての必要な知識を習得する。 ・日本の労業について、日本的経営、ワークライフバランス、外国人労働者、女性の労働等に着目し、理解する。 ・日本の社会保障制度の特徴について理解し、その課題を説明できる。
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアによるウクライナ侵攻の現状と学習課題との関連を確認し、自分事として関心を持って考察する。 ・国際法の概要を知り、その限界について考察する。 ・国際連合の特徴と課題について理解する。 ・キューバ危機について知る。 ・冷戦とその終結について知る。 ・湾岸戦争と日本の関係について理解する。 ・9.11 事件とアフガニスタン攻撃、イラク戦争の関係と状況について理解する。 ・核軍縮と核拡散を知る。 ・人種、民族問題を乗り越えるためにキングとマンデラの生き方を知る。 ・パレスチナ問題の概要を知り、解決が求められてい

学習指導要領		杉並高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p>	<p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<p>る問題であることを認識する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日韓基本条約と日中平和友好条約の概要について知る。 ・リカードとリストの学説を参照して自由貿易と保護貿易の特徴について知る。 ・リーマンショックの原因を理解する。 ・WTO、TPPなどの特徴と課題を知る。 ・グローバル経済や地域経済統合と一方のナショナリズムの状況について知る。 <p>現代社会の課題と将来社会の課題について、よりよい自らの生き方とよりよい社会のあり方の関係を可能な限り明らかに意見交換しながら、今まで学んできたことを手がかりにしてまとめる。まとめたことを適切に表現できる。</p>